

在学生紹介(社会人選抜)

職業

地方公務員

受験動機

仕事にも慣れ、日々の業務をそれなりにこなせるようになってきました。しかし、自分がその場しのぎの仕事しかできていないのではないかと限界を感じました。理論を学んで今までの仕事を体系的に整理し、今後の展望を得たいと思い、受験しました。

京大公共のええところ

どの先生も質問すると誠実に答えてくれることです。また、多様な人たちと話すことで新たな世界が開けます。

仕事との両立

職場の派遣研修制度を利用しています。

お気に入りの講義

政治哲学古典講読

哲学の古典を読み、わかりやすい先生の解説を聞き、様々な背景の受講生で議論することで哲学が本当に身につきます。

その他

来年、お会いできるのを楽しみにしています。

在学生紹介(社会人選抜)

職業

弁護士

受験動機

政策の立案過程や法律の制定過程について学びたいと考えたこと

職場が京都なので通学しやすいこと

京大公共のええところ

講義や人との交流を通して視野が広がること

仕事との両立

(学ぶ意欲で乗り越えましょう)

仕事との両立は可能ですが、個人的には時間的・体力的にかなりハードです。もっとも、先輩の中には関西圏外から通学されている方もいらっしゃいます。職場環境等の問題もありますが、仕事との両立を考える上で何より大切なのは、学ぶ意欲であると思います。本学で何を学びたいのか、学んだことを自らや社会にどのような形で還元するのかを明確にして入学されればなんとかなると思います。

(履修計画等)

2年間で卒業するには履修計画を綿密に立てる必要があると思います。私自身は、特定の曜日(週2日)を通学日とし、その日の講義を集中的に受講し、別に、隔週開講講義を受講するなどして対応しています。

必ずしも前年の時間割どおりであるとは限りませんが、前年の時間割を参考に履修計画をイメージしておくことをおすすめします。

なお、自らが学びたいことに直接結びつきそうにない講義であっても、考え方やものの見方は、自らの関心のあることに応用が可能であることが多いと思われます。また、時間割が前年から大幅に変更になることも有り得ます。したがって、前年の時間割からすると、通学可能な日に関心のある講義がないから受験を止めるという判断はおすすめしません。

お気に入りの講義

政策分析のための統計基礎

その他

日々忙しいですが、入学してよかったです。一緒に勉強できることを楽しみにしています。

在学生紹介(社会人選抜)

職業

行政書士、民間企業経営者(教育関係コンサルタント)

受験動機

士業やコンサルタントのような、商品がない仕事にとって、仕入れは、知識です。知識仕入れるために努力をしなければ成功はないとの考えから、最先端の知識が得られる場として受験しました。

京大公共のええところ

1学年50人ということで、ほぼ1, 2年生の顔と名前が一致する。世話役が多く、飲み会も随時行われている。教授陣も積極的に飲み会に誘っており、授業外において、中身の濃い話が聞けるチャンスが多い。(オフレコ多し…)

仕事との両立

ある程度、仕事に対する自由度が必要ではあるが、職業人に対して理解を示してくれる教授も多数。職業人として授業に参加しているのであるから、自分の知識や経験を話せるところは積極的に話すことにより、職業人に対する配慮も考慮していただけるものなので、単に職業人だからといって、欠席が多いことを黙認してくれるわけではない。この点さえ頭にいれていれば、両立はそれほど難しくはないと思います。

お気に入りの講義

テキストが指定されているものの方が、予習がしやすいので個人的には好きです。後期では交渉術は非常に興味深く受講しています。

その他

授業のレベルは決して低くはない。自分の興味がある分野、得意の分野を1年の前期はとるべきだと思います。スタートでつまずくと、単位をとることだけが目的となってしまいます。余裕を持って学生生活をおくるためにも、上級生に授業内容を聞くのもいいと思います。

在学生紹介(社会人選抜)

職業

国家公務員

受験動機

職場での業務をこなすうち、制度の根幹となる法令やそれに基づく運用など、制度の形成過程そのものについて興味を持つようになりました。一方、実務では、一定の妥当性を確保して事案処理を行うことに主眼が置かれるので、長期的に見れば運営に役立つことであっても、目の前の業務処理を行う限りにおいて学ぶことが優先され、業務と直に結びついている以外の事項について実践的な知識を学ぶことは困難でした。個別の案件から関連分野について知識を深めていくということもできますが、場当たりの知識が身に付きがちで、あまり効率的ではなく、働きながらでは関連知識を含めた学習を行うことは難しいと考えていました。そこで、ある程度まとまった時間を確保し、職場へも還元できる知識を身につけるため、休業制度を利用し、本学へ入学を決意しました。

京大公共のええとこ

京大といえば自由というイメージが強いのと思いますが、京大公共も例にもれず、そのとおりでした。京大公共の一般学生は、講義以外の自主研究活動等に積極的に参加している方も多く、主体的に動く意思と行動力があれば、学習を深めるにとどまらず様々なことができると思います。大学側の用意してくれる機会(一流の教授陣による講義や京大公共の教授等の個人的つながりで講義に呼ばれる第一線の実務家ゲストスピーカーとの懇親会なども含む)はもちろん貴重ですが、学生が主体的に動くことに対し好意的で有形無形の支援をしてくださる教授陣のみならず、京大公共を支える教務も学生が主体的に動きやすいように色々とサポートしていただけたところは京大公共の良さだと思います。

仕事との両立

私自身は休業しており、職場に対しては一定の報告事項がある程度で職務に従事する必要はなく、修学に専念できています。仕事をしながら通っておられる社会人も多く、自己管理が行き届き、うまく時間をやりくりできている方々のパワーはすごいと感じています。

お気に入りの講義

お気に入りは数知れずあり、正規に履修している授業以外にもいくつか聴講していますが、研究畑の教授と実務畑の教授の二人同時に講義を行う「省庁間関係」がその中でも印象的でした。一つの問題でもアカデミック面と実務面の二視点からの解説が同一の講義で行われるので、見識が広がりました。この講義は京大の公共政策の良さがあるからだと思います。

その他

現在の社会人学生のバックグラウンドは多岐にわたっており、それぞれのバックグラウンドに基づく経験を還元することで、京大公共を活性化する一助となっていると感じています。入学を検討されている方は、積み上げた社会経験に自信をもって受験に臨んでいただければと思います。皆さんと来春から一緒に勉強できることを心から楽しみにしています。

在学生紹介(外国人特別選抜)

職業

留学生(中国)

受験動機

- ① 京都大学で勉強するのは夢です。
- ② 将来の進路について、私は国際公務員を目指します。学部時代で勉強したものが足りなかったため、大学院でもっと専門知識を学び、国際公務員にふさわしい能力を身につけたいと思いました。京大公共のホームページを見て、授業内容の紹介で地球共生クラスターがあり、これに対してとても興味があって応募しました。

京大公共のええところ

- ① 授業科目は政治、経済、法律を包括され、多様な知識を身につけます。
- ② 素晴らしい教授がおられ、授業が面白いだけでなく、キャリア面もいろいろアドバイスをいただきました。
- ③ 勉強以外にも、二つの実習活動を参加して日本語力、知識とチームワーク能力を高めました。
- ④ 日本学生と留学生と友たちになり、飲み会も多い、皆の仲がすごくいいです。

在学生紹介(外国人特別選抜)

職業

留学生(韓国)

受験動機

韓国で大学を卒業し、公務員として働いていたの中でより深い勉強の必要性を感じて大学院に進学したいと思いました。職場で必要なことは法、経済学、政治学に関連する知識で特にアジア地域と関連し、日本が持っている高い影響力を考慮して日本への進学を希望しました。もちろん、京都ならではの歴史的な魅力にはまったことも一理由です。

京大公共のええとこ

一学年の定員が40人という少数の大学院であり、専任の先生はもちろん、法学研究科、経済学研究科をはじめ、多くの実務の経験がある先生が講義を担当しています。理論的な部分のみでなく、現場の経験を聞くことができるとてもいいと思います。

また、クラスターを選択し、集中的に勉強することもできるが、他のクラスターの授業なども興味がある場合にはいつでも聞くことができるという点もいいです。

自分が考えている課題について様々な角度から考えていて、積極的にぶつかっていきながら、解決策を見つけるシステムです。

先生と学生たちもオープンマインドに優して留学生が適応することにも問題はないと思います。

特に留学生の場合にはチューター制度があり、私の場合には2期生の優しく可愛いチューターの助けをたくさん受けました。本当にありがたいです。